

芳賀町 校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

本町においては、全ての町立小中学校で組織的に ICT 活用が行われるよう、ICT 活用推進委員会を中心に、各種研修の実施や各種マニュアル等の作成・利用等により、ICT 活用を推進している。

また、各種アンケートや保護者向け連絡のデジタル化、各種資料のペーパーレス化などをすすめて、教員の業務負担軽減を図るとともに、ICT を利用した児童生徒の探究活動や協働的な学びや個別最適な学びをすすめ、更なる教育の質の向上を目指す。生成 AI の実証事業を行い、教育での利用について検証するなど必要となる。また、ICT に関する情報を、芳賀町教育委員会のポータルサイトにまとめて情報発信を行う。

今後は、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」等による自己点検から、芳賀町における校務 DX の状況の把握と今後の課題等を随時チェックしながら適切に推進を進めていく。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

- ・本町では「芳賀町振興計画」において、よりよい環境で教育を受けることができるように学校教育の ICT 化を進めるとしている。これら学校教育の ICT 化については「芳賀町教育情報化推進計画（第2期）」に基づき推進していく。具体の指標として「児童生徒の情報活用能力」「教員の ICT 活用指導力の向上」「統合型校務支援システムの活用」の3つの観点を設定し、それぞれの観点到いくつかの具体的な方策をとりながら、その実現を目指す。
- ・「児童生徒の情報活用能力」では、児童生徒の ICT スキルチェックの実施や、情報活用能力の育成計画の策定、プログラミング教育や情報モラル教育の推進などが挙げられる。
- ・「教員の ICT 活用指導力の向上」では、教職員の ICT 活用指導力チェックの実施や、学習場面に応じた学習支援の充実、ICT 支援員等の支援を受けた ICT 環境整備などが挙げられる。
- ・「統合型校務支援システムの活用」では、指導要録や通知票などの電子保存化や会議資料のペーパーレス化、保護者への連絡ツールのデジタル化などが挙げられる。
- ・また、ICT 活用推進委員会を設立し、各学校において ICT に関する幅広い知識を有する人材を育成するため、ICT 支援員の訪問を要請した各種研修等の事業を展開しており、今後も学校教育の DX 人材育成に取り組む。加えて、学校教育の ICT 化に取り組やすくするように、各種マニュアルやテンプレートをパッケージ化する等、各校において推進できるような支援を行う。